事例No.	2350
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	厚生地区まちづくりの会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・福祉・介護 ・移住定住

事例種類	地域運営組織

事例内容・タイトル

地域運営組織の持続的な運営に向けた
取組（厚生地区まちづくりの会）

出典

地域運営組織の持続的な運営に向けた取組事例集

厚生（こうせい）地区まちづくりの会　①

04

【概要】

立地自治体		三重県伊勢市	人口規模		約7,000人
設立年度		平成17年度	活動エリア		小学校区と概ね一致する
構成団体	構成団体	・自治会・町内会（7団体） ・地域活動団体（4団体） ・事業者（6団体） ・教育・福祉等（3団体）	法人格の有無		無
			体制		役員とは別の事務局体制を確保
			詳細	役員	―
	協力団体	・教育・福祉等（3団体） ・行政関係（1団体）		役員以外	2名（うち常勤・有償2名）
			ホームページなど		http://www.kousei-machi.sakura.ne.jp/sumikaindex.html

【具体的な活動内容】

【高齢者等の生活支援】

- 「生活お助け隊」（生活支援サービス）の運営として、介護サービスでは受けられない、ちょっと困ったときの生活支援サービスを実施している。
- 主な支援内容は、家庭内の掃除、皿洗い、家具の組み立て、電球の交換、庭の草引き、墓掃除等の簡単な作業、話し相手、通院の付き添い、宅配・買物代行等となっており、年間約120～170件の利用がされている。
- その他には、高齢者の日常の困りごとに対して専用電話による相談対応を行っている。

【学習支援】

- 当初はサマースクールと連携していた学習支援の取組について、サマースクールの事業終了に伴い、地域運営組織の支援員が学習支援を継続している。
- 小学校の協力のもとで、教職員OB等からなる支援員が小学校の会議室などで学習支援を行い、1日平均60人が参加するなど人気のある活動となっている。

【安全・安心】

- 地域と学校が連携して実施している防災訓練については、地域と学校との連携の在り方を確認・検討する機会となっているほか、子どもたちに自分の命は自分で守る意識と実践的な態度を育む貴重な機会となっている。

厚生（こうせい）地区まちづくりの会 ②

04

【住民の声を反映している取組事例】

取り組み	市内の空き家の有効利用「厚生すみか」
経緯・狙い	• 地区内には空き家が多く、少子化や空洞化が進んでいたことから、「人の集まる賑わい」を取り戻すため、空き家に関する調査・研究を実施した。 • 30～40代の若い世代が中心となった取組体制とし、地域運営組織を構成する各町内から不動産関係、建設関係、司法書士などの専門知識を有する人材が代表者として関わった。
取組の概要	• 活動区域内の各自治会と連携した「空き家相談会」を実施して、空き家問題に対する地域の情報やニーズの丁寧な把握を行った。 • 地域運営組織の担当者と近隣住民との日々のコミュニケーションなどにより、空き家が発生する前段階の相談・悩み事の受け皿としての役割を担った。また、空き家や空き地の利活用にむけたマッチングを行うことで、早めの課題解決につながった事例もあった。 • その他には、厚生地区内の空き家・危険倒壊家屋の現地調査等を通じて整理した空き家の情報について、行政の担当者へ伝達することで、行政による取組の実施を働きかけた。
成果	• 接道の問題を抱える地区や敷地の抱える課題に対しては、メンバーの有するネットワークで隣接する敷地の所有者同士の話し合いを促し、小規模な区画整理を行うなど、課題解決に向けた動きに繋がっている。 • 営利目的の民間事業者ではなく、公的な役割を担う地域運営組織が関わることで、地域住民の信頼を得やすく、マッチングも成功しやすくなった。 • 空き家・空き地の利活用の促進に向けて、行政との連携体制の構築が進められている。
今後 取組みたいこと	• 子どもをはじめとする学区内の人口の増加、にぎわいの創出に向けた取組を継続し、防犯・防災・景観に対する施策や取組との連携を深める。 • 域外からの移住の候補地として選んでもらうべく、行政の移住担当課やタウンマネージャーと連携し、移住者向けの説明会を実施するなど、新たな動きに繋がるような取組を行う。



出典：厚生地区まちづくりの会 資料